

ほんごう

富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会会報

No.21

2017年(平成29年)10月発行
〒939-8630 富山市本郷町13番地
富山高等専門学校本郷キャンパス同窓会
発行責任者：石山彰雄
制作：有限会社 青青編集



HOMECOMING DAY 2017 高専祭 (志峰祭)

テーマ Intellectual Expedition (知的探検)
開催日 11月11日(土)、12日(日)
開催時間 9:00～17:00 (両日とも)
開催場所 本郷キャンパス
駐車場 校内に一般向け駐車場あり

卒業生の皆さん
ご家族(お子さん、お孫さんは大歓迎)や友人を誘って遊びに来てください
学生が運営する模擬店、各学科および各センターの企画展示をお楽しみに！
お待ちしております…

詳しくは
ほんごう会ホームページ

ほんごう会

検索

または、同窓会メールまで
E-mail: ezx02722@nifty.ne.jp

いっぺんこられまあ〜

平成29年度 **ほんごう会大懇親会**に多数の参加を!!

ほんごう会大懇親会 (平成29年度総会)

平成29年 **11月3日(金) 文化の日**

PM5:00～ 講演会(講師:退職予定の西田均先生)

PM6:00～ 総会・懇親会

●場所/ **ホテルグランテラス富山**
(旧名鉄トヤマホテル)

●会費/ 30才未満及び女性 ¥3,000
30才以上の男性 ¥5,000
新卒者 無料

恩師の先生方にもご案内しています。

なお出席の方はメール、FAXまたは同封のはがきにて、
10月25日までにお知らせください。

名実共に超一流のエンジニアを!!

富山高専本郷キャンパス同窓会

ほんごう会 会長 石山 彰雄



表紙の写真は、平成28年11月19日（全国ロボコン大会の前日）東京、お茶の水ホテルジュラクで開催された全国高専同窓会連絡会の集合写真です。昨年で第8回目となる全国高専同窓会の連絡会です。昨年はようやく念願の全国高専同窓会連合会の立ち上げを実行することができました。

連絡会への参加同窓会は21同窓会で連合会への参加は12同窓会のみ状況です。未だ同窓会連合会の立ち上げ意義がしっかり理解されていません。連合会立ち上げの意義は、標題に記載したとおりの「名実共に超一流のエンジニア」を育てるための高専制度の確立を同窓会が側面から支援しようとするものです。

名実共にが非常に重要で、高専制度創設当時の文部省は6・3・3・4制の教育体制の他に6・3・5制の別の教育体制を作ることとし、短期大学は全て廃止の上、6・3・5制の専科大学の創設を考えていました。

当然のことながら短期大学廃止に大学関係者から猛反発があり、名称は高等専門学校へ後退してしまったのです。昭和45年頃に至り、高専卒業生の受け入れ先として、工業技術大学院構想が検討されましたが、これも周囲の反発により、工業高校卒業生を受け入れる長岡・豊橋の両技術科学大学へと変更されてしまったのです。

折角、6・3・5制という教育制度を創設しながら卒業後は6・3・3・4制に編入するという文部省の基本構想の曖昧さが現状の高専制度なのです。現実には、5年間一貫したエンジニア教育を受け、卒業時には大学卒業生以上の評価を受けていながら、20才の短大生並みの待遇しか得られないとすれば、それはやはり高専制度のP.R.と制度の改革を同窓会としてしっかり支援してゆく必要があるのではないのでしょうか。

富山高専の近況報告

校長 賞雅 寛而



富山高等専門学校同窓会の皆様には、重要なステークホルダーとして本校の教育・研究に対し平素より多大なご協力・ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

我が国は世界に冠たる科学技術立国であり四面を海に囲まれた海洋国家です。また富山県は歴史的に、北海道から長崎・琉球にわたる北前船の重要な中継港となってきた海洋県であり、この交易によって始まった製薬産業・科学産業そして黒部ダムのエネルギー利用によって始まった素材加工産業を大きな二本柱とする我が国でも有数の工業県です。この科学技術・海洋の分野で「イノベーションを創出できる人材、グローバルな世界で活躍できる人材、そして社会に貢献できる人材」を育成し続けていくことは、我が国そして富山県の将来を導くための重要な課題となっています。

高等専門学校（高専）は、入学の16歳から本科卒業の20歳まで、あるいは専攻科修了の22歳までという高校・大学とは異なるスパンの教育を行いますが、長い人生の中で最も人間として成長するこの時期の若者に、基礎から応用に多くのステップを持つ理工系もしくは高度な専門教育を一貫して行うことは、我が国そして富山県の科

学技術・海洋分野の人材養成に非常に重要です。また本校で行われている専門教育は、同窓会そして県内企業の皆様のインターンシップ受け入れや講師の派遣などにより実践的にすることができており、大きな教育的効果を上げています。

現在、本科の卒業生の約半数が企業へ就職し、約半数が国立大学3年次への編入学、あるいは本校の専攻科へ進学しています。進学者のほとんどは県外の大学への進学者ですが、後に富山県に戻ってきて県内で就職するもしくは起業している進学者の割合は、近隣の高専機関に比較して高くなっています。これは、1) 前述のように工業県であるために若い人を受け入れられる優良企業が多いこと、2) 人生の成長期に本校の実践的専門教育を通じて県内企業を理解していること、そしてなにより、3) 同窓会、父母会である後援会、そして本校支援企業である振興会によるネットワークが構築されていることによるものでしょう。

最近の本校卒業生、修了生の就職・進学実績は、他の高専だけでなく近隣の高専機関を大きく引き離しており、したがって本校は、国内57の高専のトップ校と

して、我が国及び世界で活躍する技術者、ビジネスパーソン、そして海事技術者を育てることを使命とする有数の高等教育機関になっています。ここで高専は約50年前に「専門技術者の養成」を行う高等教育機関として発足し、日本の経済的・技術的発展に寄与してまいりましたが、定年が55歳であり経済成長期であった黎明期の高専の社会的役割と、65歳になりまた更なる延長が考えられている経済成熟期の現在の役割は当然のことな

がら変わります。富山高等専門学校はこの変わっていく社会的役割に着実に対応し、これからもその特質を生かして、学生の挑戦とコミュニケーションネットワーク形成をしっかりサポートし、学生が社会に飛び立てるもしくは次のステップに進める姿にする教育、関連の研究また社会貢献を一層充実すべく、教職員一同心に命じて努力しておりますので、どうぞ今後とも同窓会の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくたまわりますようお願いいたします。

富山高専の教育研究に携わって

校長特別補佐
電気制御システム工学科 西田 均



私は富山高専に平成15年3月に着任して、まもなく14年の勤務になります。この間に富山工業高専と富山商船高専の高度化再編統合や高専創立50周年式典、海外協定校との国際会議の開催など記念すべき変革と事業に立ち会うことができました。また、統合後、富山高専は東海北陸地区の産学連携を世話する拠点校となり、他高専と一緒に連携活動に取り組んできました。これらの事業は高専の教育研究の成果の一つかもしれませんが、形に現れない多くの成果があると思います。私は富山高専で携わった教育と研究、並びに、社会貢献において、多くの方との出会いがあり、様々な経験をする事ができたと思っています。

教育面では機械工学科4年生の担任をしたとき、毎日のように多くの企業の採用担当者と面談したことが記憶に残っています。いろいろな企業の人事の方と知り合うきっかけとなり、今も親しい関係にある方がいます。着任2年後から、企業グループとロボット関係の共同講義を続けています。この授業の講師は日本の代表的企業の技術者であり、実機を持ち込んで実際の授業が行われています。まとめ役の企業には大変お世話になっているところですが、私自身、企業や技術者を知ることになっています。この経験が、平成28年度からの富山県機電工業会の寄付講義(専攻科・地域産業学)の開講に繋がっていると思います。

高専の研究の特徴では教員と学生が一緒になって取り組むことであると思います。私は毎年複数企業と共同研究を行っており、また、科研費については勤務した期間に代表として4回採択されています。これらの研究は学生と一緒に取り組んでおり、共同研究では学生が企業の課題解決に取り組むことになり、科研費では学生が最先端の課題に接することができたと思っています。また、学生の学会発表を推進しており、学生もこの期待に応え、毎年、10件以上の発表に繋がっています。これらの活動は学生の企業技術者や他大学の先生との出会いに繋

がっています。本校の学生が学会で大学院生と同じように発表する様子はとても嬉しく感じる時です。

高専が法人化されたとき、高専の使命に社会貢献が加えられました。高専の社会貢献は社会で活躍できる学生の輩出と企業との共同研究の実施であると思っています。本校は技術振興会から多大な支援をいただいております。高専が開催する研究会やセミナーには技術振興会の技術者の方々に参加していただいております。参加者との出会いは大きな財産になっております。また、私は学会などの役員として、専門分野の研究成果の公表や新技術の紹介・普及に努めています。地域の産業団体の委員なども務めており、地域産業の活性化に貢献できればと思っています。役員や委員の活動は高専のプレゼンスの向上にも繋がっていると思います。

一緒に研究した学生や指導した学生が社会で活躍していることを聞いたり、卒業生が直接訪ねてくれたりすることは本当に嬉しく感じます。経験を重ねるごとに増えているように思います。会社の方から、彼を「何々にしたい」などと聞いた時は大変嬉しいものです。毎年、研究室の複数の専攻科生が大学院に進んでいます。大学院で表彰を受けたり、奨学金返済免除を受ける学生が出てきています。また、最近では、富山に戻り、就職する学生も増えています。企業の方から、富山高専出身の大学院生を採用したいと言われることが多くなりました。卒業生が活躍している証拠かもしれません。

多くの方々の協力を得て、高専の学生教育に繋がるさまざまな活動に携わることができたと思います。卒業生が大学院や企業で活躍していることに、大変嬉しく、富山高専で教育研究に携わることができたことを幸せに感じています。ご協力ご支援いただきました関係の皆様へ心から感謝申し上げます。最後になりましたが、このような執筆の機会を与えてくださいました同窓会の皆様にお礼申し上げますとともに、同窓会の益々の発展をお祈りいたします。

会員のひろば

クラス会・OB会情報

昨年行われた同窓会

前号 (No.20) に掲載できなかった同窓会の様子を紹介します。

E6クラス会

富山第一ホテルにて平成28年8月20日、3年ぶりのクラス会を開催しました。

小川先生にも参加いただき、久しぶりに話す学生時代の思い出や今の自分たちの生活に話題盛りだくさんで、今回も予定時間をオーバーして、会場を2次会に移して旧交を暖め語り合いました。

今回、在学途中で大学を目指した中村毅さんが新たに加わっていただき、大いに盛り上がった会になりました。

今回不参加の皆さん、この報告をごらんでしたら、次回開催プラン募集中です。ぜひ金子までメールください。
(報告 金子 信一)



1M同窓会

平成28年6月5日、機械工学科1回生の同窓会を宇奈月温泉の老舗旅館「延楽」で開催しました。

大変お元気な恩師の森先生と同窓生18名で懇親会を行い、近況報告からカラオケまでを満喫し、翌朝は約半世紀ぶりに母校、富山高等専門学校本郷キャンパスの見学会を行いました。

見学会では、西田副校長、寺西教授の学校紹介の後、機械システム工学科では内燃機関燃焼の可視化、電子顕微鏡、FIB (収束イオンビーム)、XRD (X線回析装置) など、電気制御システム工学科では自立式ロボットの動作計画など、その他に、実習工場、図書館 (図書室、情報処理センターでの2M情報処理授業) などを見学し、在校当時の姿から大きく変貌しているのに年月の経過を感じました。

また、整った環境と施設の中で最新の機器を使って勉強している学生の皆さんを見て、羨ましくも思いました。

実習工場の見学では、在学時代に実習で使用した旋盤、万力、溶接機などを見ることができ、当時のやすり掛け、きさげ、溶接などの実習作業の話で盛り上がりました。

学内のいろんなところで、学生の皆さんが楽しそうに勉強、研究、運動をされている姿を見て、若い皆さんのパワーを貰い、2年後の再会を約束して帰途につきました。

最後になりますが、見学でお世話をいただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。
(吉田)



E17期生クラス会

平成28年8月14日(日)、前回開催から4年を経過しクラス会を開催しました。

今回も恩師の小川先生をお迎えし、前回は5名上回る15名の参加で、3次会まで大いに盛り上がりました。小川先生には、お忙しいところ、又、猛暑の中ご出席いただき大変有難うございました。

前回欠席し30余年ぶりに再会した皆も、5年間を一緒に過ごしたあの頃と全く変わりなく安心しました。

次回がもし4年後に開催出来れば、私達17期生と高専

が生まれた昭和39年、東京オリンピックの年から56年目となり、再び東京オリンピックの開催される記念の年になります。

次回こそ、今回参加できなかった皆に会えることを楽しみにしています。

(世話役 野村 忠敏)



E3クラス会



60歳から毎年宿泊を伴うクラス会を開催しています。平成28年度は11月11～13日に氷見と能登半島での二泊三日でした。

北陸で働き住んでいる同級生には珍しくもなともないのでしょが、関東、関西方面の同学にはこれらの場所は珍しいのです。実際は旅行会となっているかも知れませんが、毎年続けられるのもA級(永久?)幹事の力とおだてられます。しかし、永年やっているのに、加齢故かトロイ(11,500円の赤字にもなりました)。事前にexcelで会費の細かいシミュレーションをしている割には、何の役にも立ちませんでした。会費の取り過ぎは還せば良いですが、少ない場合は後で取りにくいものです。

歳をとると寒いのは嫌だと、ギリギリの妥協で11月中旬の開催としましたが、やはり以前に行っていた海の日三連休に戻すかなあ。

11月の開催としたのは、台風で1回キャンセルになってしまったトラウマと、夏は暑いから厭だとか田んぼが忙しいからと我が儘放題だったためですが、11月でしたので寒ブリも、ズワイガニも、まあ美味かった???

また、寒いのに氷見カントリーでゴルフをする同学が6人いました。しかも後輩の二人を誘って。能登の巖門ではサスペンスドラマの最後の白状を再現?!(最後の15分を見れば分かる。それまでは何なんだ?)

御寺巡りばかりでしたが、歳相応で良かったです。関東組は高岡の国宝瑞龍寺を見て門からの借景にビックリしていました。住職から直接説明もして貰って有難かったです。五箇山(白川郷ではなく)にも行きました。

来年は房総半島の旅と幹事が勝手に決めています、嫌なら置かれと、来る者拒まず、去る者追わず。

参加者: 括弧のGはgolf

北陸: 上田、金尾、川原、澤田、高田(G)、館谷(G)、中島(G)、中田、吉崎(G)

関東: 大石(G)、熊本(G)、横山、米田、幹事

関西: 嶋

計15名

これに懲りずに来年の房総半島の旅に参加してや!

日頃疎遠になっている不参加の同学も連絡欲しいなあ。たまには参加して。幹事: 野村(元気な内はやるぞ)

平成28年度卒業-物質化学工学科 ~第一回同窓会~

記念すべき第一回の同窓会は29人もの仲間が集まり、楽しい会となりました! 卒業して1年程経ちましたが、相変わらず騒がしくて自由な団体です。笑

これから毎年年末に集まって、またみんなでたくさん話してたくさん笑いましょう! (山本 なつみ)



わかたけ会ゴルフ(本郷キャンパスOBゴルフ会)

本郷キャンパス卒業生が名誉教授を招いての富山高専OBゴルフ会です。名称は教職員によるゴルフコンペ名をいただいて「わかたけ会」としております。

一昨年より7名でトナミロイヤルゴルフ倶楽部からスタートし、県内のゴルフ場を回り、今回で7回目の開催となりました。

開催日時 4月22日(土)

開催場所 トナミロイヤルゴルフ倶楽部

競技方法は、誰でも参加できるよう新ペリアによる



ハンディ戦としております。

当初、森名誉教授、貴堂名誉教授2名を含めて最大の30名の予定でしたが、当日、腰痛のため森名誉教授が棄権となり総勢29名でのプレーとなりました。

同組希望(同級生、クラブ仲間等)の要望を取り入れ、和気あいあい楽しい会となりました。

■参加者の募集

本年度は、7月に花尾CCにて開催し、10月には氷見CCでも開催する予定です。

本郷キャンパス卒業生であればどなたでも参加できます。来年度も春、夏、秋、各1回の開催を予定しておりますのでメールにて連絡いただければ幸いです。皆様のご負担を少なくするため、参加会費も1,000円とし、プレー料金も比較して会場設定を行っております。

是非、OBゴルフ会への登録をされて、ご都合の良いときに参加してください。

(わかたけ会幹事 5E 川崎 昇)

メールアドレス: take16802006@gmail.com)

ラグビーフットボール部OB会

平成28年8月14日、創部39年にしてラグビーフットボール部のOB会を設立しました。

毎年OB会と称する「OBチームvs学生チームの交流試合」はやってはいましたが、さらなるOBの交流・学生への強化支援等を目的として、組織的な運営をする事になりました。

設立総会の前に、成願寺公園のラグビー場で交流試合を行いました。天気にも恵まれ、OBは久しぶりに

触るラグビーボールを懐かしむようにプレーしました。

設立総会・懇親会には多くのOB、お世話になった先生方にもご参加いただき、大変楽しい時間を過ごす事ができました。

会を益々盛り上げていけたらと思います。

(富山高等専門学校本郷キャンパスラグビーフットボール部OB会
代表 道井 秀樹)



5Mミニ同窓会



級友の社長就任祝いを兼ねて、久しぶりに県内在住者の同級生が集まり、ミニ同窓会を開催しました。

かつての血気盛んだった若人も今では黒髪に霜の降る年齢となり、「光陰矢のごとし」という言葉をしみじみと感じるところもありましたが、喋るにつれて思い出を遡り、楽しいひとときを過ごすことができました。

65歳を間近に控えてこれから社長業？ なんてジョークもありました。

殆どの参加者は来年には完全リタイヤです。

共に過ごした5年間は、歳を重ねる毎に絆を深める源です。
(野中 秀夫)

陸上部OB・OG会

陸上部36回目のOB・OG会は8月13日に開催。今年は母校のグラウンドにて開催しました。当日は朝からの快晴に恵まれ、OB・OG12名が参加しました。

陸上部OB・OG会では、1年間の活動報告などを行う総会と、OB・OG・現役部員の参加による記録会が行われます。総会では、昨年の35周年記念事業報告、開催場所については現役側とも相談しつつ、グラウンド整備のことも考慮し、検討を続けることを確認しました。

総会のあとは恒例種目(1500M、50M、100M、走幅跳、砲丸投、5000M)の記録会です。今年も顧問の豊嶋先生、現役選手達と共に、一緒に楽しく走り・跳び・投げてきました。懐かしい本郷キャンパスグラウンドにて、



OB・OG達は今の自分達にできる限界へ挑戦しました。OB会は今後も積極的にこの高専本郷の陸上部活動を応援し続けます。(陸上部OB会長 M28 古田 貢司)

同窓会助成部活紹介

テニス部

昨年度はテニス部に助成いただきありがとうございます。助成金は、ボールの購入費に充て

させていただきます。厚く御礼申し上げます。

昨年は、女子シングルス、女子ダブルスが、北陸地区高専大会で優



勝し、全国高専体育大会に出場しました。岐阜県で開催されました第51回全国高専体育大会においては、女子ダブルスで全国3位という成績を残せました。

今年は全国高専大会で昨年以上の成績を狙うとともに、北陸

地区での団体戦の優勝も目標に掲げています。部員全員でレベル向上を目指し、いっそう練習に力を入れてまいります。今後とも引き続き応援頂けますよう、よろしくお願いいたします。

(テニス部 4年 木下 彩)

バレーボール部

バレーボール部は、男子部員4年生3名、2年生5名、1年生2名と少人数の部員数ではありますが、高校県ベスト4、北陸地区高専大会優勝を目標に、毎日第二体育館で練習に励んでおります。平日は、授業終了後の約2時間半程度の比較的短い時間の中で効率の良い練習を行い、土日は、練習量を増やし、さらに、県内の高校との練習試合や県外遠征等を通じて実戦経験や技術力を高めています。

部員の半数以上が高専からバレーを始めたというチームではありますが、昨年度は十数年ぶりに高体連の公式戦に出場し、

目標達成とはいきませんでしたが、元気ハツラツの全力プレーで確実に勝利を収めることができました。また、北陸地区高専大会では、優勝校の石川高専にあわよくば1セットというところまで善戦し、今後につながる内容でした。

同窓会よりいただきました助成金は、平型軽量ボールカゴの購入に活用させていただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。今年度もさらに上を目指して、目標達成に向けて日々精進していきたいと思っております。また、今年度は女子部員3年生1名、2年生2名、1年生4名が加わったことで女子バレー部の活動が再開し、現在は秋季大会や新人大会に向けて一丸となって一生懸命練習に励んでいます。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

メカテック部

平成28年度の競技課題は「ロボット・ニューフロンティア」、三分間で、接地禁止エリアを越えボックスを運び込み、高く積み上げるというものでした。

このルールで勝つために僕たちメカテック部は、従来のロボコンの取り組み方から体制を大きく変えました。

この競技には合計40kg以内であれば、ロボットの台数無制限という異例のルールが適用されました。そのために、ロボットの構成部品を大きく変え、3Dプリンターパーツとカーボン材を多く取り入れました。新しい素材を活用することで、ロボットの軽量化と安定性をとことん追求でき、改良と練習に時間を費やすことに成功しました。

また、昨年度の問題点であった、フィールドの全景を把握したほうがより実践的なアイデアが生まれるという意見を受け、ルールが発表されてすぐにフィールドの作成に動き出しました。

竿を伸ばして設置禁止エリアを渡るアイデアや、メカナムホイールの昇降機構を使って木材を越えるアイデアは、実際のフィール

ドの大きさを目で確かめて固まってきたものです。

この度僕たちは、東海北陸地区大会にて初の優勝とデザイン賞を獲得しました。そして、両国国技館で行われた全国大会では二メートルの高さまでボックスを積み上げ、全124チーム中ベスト8まで勝ち進みました。健闘の結果、アイデア賞とマブチモーター賞を取ることが出来ました。

今年度の競技課題は「大江戸ロボット忍法帳」、最高4台のロボットが互いの機体に取り付けられた10個の風船を割りあうという非常に難しいものになっています。やり遂げれば、大きな自信に繋がると思っています。

皆様のご声援は大変励みになります。どうか、よろしくお願い致します。



軽音楽部

お世話になっております。このたびは、クラブ助成をいただきました。誠にありがとうございます。助成金につきましては、かねてより不足しておりました音響機器の購入に充てさせていただきました。まずはクラブ顧問ならびに部員一同、心より御礼申し上げます。

軽音楽部は現在36名が所属しており、全体の約8割が運動部など他の部との兼部となっております。また1/3が女子で近年、女子部員も増えてきております。練習は第一体育館と第二体育館の間にある音楽練習場を使用し、吹奏楽部と練習場をシェアしている関係上、週に2日間(水曜と金曜の放課後)の活動となっております。初心者からの入部も多いですが、「高専に入ったら絶対軽音楽部に入ろうと決めていました」と、最初から意欲も演奏技術も非常に高い新入部員も近年増えてきたと思います。軽音楽部とお聞きになると、少しヤンチャで目立ちたがりとの印象をもたれるのかも知れませんが、正直なところ、過去にはお騒がせし、ご迷惑をお掛けしたこともありました。特に2年前から部長を中心に軽音楽の部活動としての在り方を真剣に考え、活動規範の共有や風通しの良い雰囲気作りなど、部の健全化に取り組んできました。その甲斐あって、それまでは個々のグループ活動がメインで部活動としてのまとまりが希薄だったのが、今では日頃の練習活動におけるグループ同士

のつながりはもちろん、志峰祭などイベントの開催時もグループの枠を超え一致団結して臨める体制が整ってきました。昨年度は年末に数年ぶりとなる校内でのライブ企画を開催することができ、今年度は11月に行われる志峰祭に向けて部員一丸となって日々の練習に励んでおります。最近、真面目に取り組む姿勢を評価していただき、応援の声をいただける機会も増え、大変うれしく感じております。今後とも、明るく健全な活動を維持し、「軽音楽部に入って良かった」と言って卒業できるような部活動を目指して頑張ります。今後ともご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。



囲碁将棋部

近年の囲碁将棋部の活動状況について報告いたします。

全国高等専門学校将棋大会が毎年8月に実施されています。一昨年は島根県松江市、昨年は群馬県前橋市で開催されました。双方の大会で男子個人戦において3位に入賞した学生(湊開誠君 当時4年、5年)の活躍があって、男子団体戦は3年連続準優勝しました。しかし3回とも決勝の相手が奈良高専で、一矢報いることができなかったのが残念です。また昨年は女子個人戦でも準優勝する学生(湊梨緒さん 当時1年、開誠君の妹)が出ました。三重県鈴鹿市で行われる今年度の大会にむけて、部員一同練習に励んでいます。

また高等学校の部では、昨年(広島県福山市)に引き続き、今年(宮城県白石市)も全国高等学校将棋選手権大会(全国総文祭)男子団体戦に出場が決まっています。女子個人戦に出場する湊さんともども頑張ってきたと思います。県大会を勝ち

抜いて、全国大会には常連的に出場できていますが、出るだけでなく全国大会での予選を突破することが当面の目標です。

課題としては低学年部員の定着、囲碁部員の育成などがありますが、一定の成果を上げていると自負しています。こういった成果を上げるためには、近畿中部地区の高専で行っている大会や、県レベルの強化練習会、さらには一般の大会に出場して腕を磨く必要があります。遠征費や参加費等において、同窓会の皆さんからのご支援が大きな力になります。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



剣道部

平成29年度富山高専本郷キャンパス剣道部は、男子1人が新しく入部して、5年生1人、4年生2人、3年生6人(内女子2人)、2年生7人(内女子2人)の、部員総数16人になっています。私たちは剣道場で平日より練習に励んでいます。特に毎週火曜日は外部特別講師の伊勢博行先生のご指導のもとで、心・技ともに高める努力をしています。

昨年7月には、福井県越前市で開かれた第51回北陸地区高専大会に参加しました。そこで男子団体は、5連覇を果たすことができました。また女子団体は、惜しくも2位でしたが、当時1・2年生の若いチームでありながら、上級生を相手に引けを取らない試合をすることができました。

昨年8月に愛知県豊田市で行われた全国高専大会では、男子団体は良い結果を残せなかったものの、当時3年生の木倉健成部長が個人戦で全国2位の入賞を果たしました。

本剣道部は、5年間連続での全国高専大会への出場を果た

しています。今年もその流れを止めないように、部員一丸となって引き続き稽古をしていきます。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会より頂いた助成金は、全国高専大会や遠征時の学生旅費などに使用させていただきました。本当にありがとうございました。(物質化学工学科3年 剣道部 毛利 崇力)



富山高等専門学校後援会からのお知らせ

本郷キャンパス寮前テニスコート整備として 2,000万円を富山高等専門学校へ寄附

富山高等専門学校後援会(本郷キャンパス)では、今年度、本郷キャンパス寮前テニスコートを整備するために、富山高等専門学校に対し、2,000万円を寄附いたします。

これは、富山高等専門学校が統合する以前の富山工業高等専門学校教育後援会において、平成21年度まで徴収していた特別会計の会費を原資としており、その用途を検討するべく委員会を設置し、2年に渡って協議し、学



改修予定場所:寮前テニスコート北門側2面(H28.8撮影)

校側とも審議を重ねた結果、本郷キャンパス施設の整備として寄附することが決定し、この度の支援となりました。

寮前テニスコートは現在、軟式テニス部の活動場所となっていますが、十分な活動が出来ない状況にあります。今回の整備によって、部活動だけではなく、学生全体の支援へと繋がり、大いに活用していただけるものと期待しております。

テニスコートの完成は本年中を予定しております。近くにお立ち寄りの機会がありましたら、ぜひご覧ください。

また今回、この場をお借りして、本郷キャンパス同窓会の皆様にはご報告と共に深く御礼申し上げます。

ほんごう会のホームページアドレスは

ほんごう会

検索

<http://www.tk-hongou13.net/>

【会員専用ページ閲覧IDとパスワード】 ユーザー ID : member パスワード : passhongou13

【メールアドレス】 ezx02722@nifty.ne.jp

英語で表示されるかも知れませんが上段にID、下段にパスワードを入力してください。